

平成 27 年 2 月 20 日

各 位

会社名 株式会社ホクリョウ
代表者名 代表取締役社長 米山 大介
(コード番号：1384 東証第二部)
問合せ先 取締役企画部長 進藤 正紀
(TEL. 011 - 812 - 1131)

東京証券取引所市場第二部への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、平成 27 年 2 月 20 日に東京証券取引所市場第二部に上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、当社の当期の業績予想は以下のとおりであり、また、最近の決算情報等につきまして別添のとおりであります。

【連結】

(単位：百万円、%)

項目	決算期	平成 27 年 8 月期 (予想)			平成 27 年 8 月期 第 2 四半期累計期間 (予想)		平成 26 年 8 月期 (実績)	
			構成比	対前期増減率		構成比		構成比
売上高		14,907	100.0	12.6	7,627	100.0	13,239	100.0
営業利益		484	3.3	37.4	459	6.0	352	2.7
経常利益		526	3.5	27.1	478	6.3	413	3.1
当期(四半期)純利益		269	1.8	392.8	292	3.8	54	0.4
1株当たり当期(四半期)純利益		41円35銭			49円52銭		9円39銭	
1株当たり配当金		10円00銭			0円00銭		20円00銭 (6円67銭)	

- (注) 1. 当社は、平成 26 年 11 月 12 日付で普通株式 1 株につき 3 株の株式分割を行っております。平成 26 年 8 月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1 株当たり当期(四半期)純利益を算出しております。なお、1 株当たり配当金については、平成 26 年 8 月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算出した場合の数値を参考までに()内に記載しております。
2. 平成 26 年 8 月期(実績)の 1 株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式数により算出し、平成 27 年 8 月期(予想)及び平成 27 年 8 月期第 2 四半期累計期間(予想)の 1 株当たり当期(四半期)純利益は、公募株式数(1,300,000 株)を含めた予定期中平均発行済株式数により算出しており、オーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当増資分(最大 330,000 株)は考慮しておりません。
3. 平成 27 年 8 月期(予想)につきましては、その重要性を鑑み、連結の業績見通しのみを開示し、個別の業績見通しは開示いたしません。

本資料に記載されている当社の当期の業績見通しは、本資料の日付時点において入手可能な情報による判断及び仮定を前提にしており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。

以上

平成27年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年2月20日

上場会社名 株式会社ホクリヨウ 上場取引所 東
 コード番号 1384 URL http://www.hokuryo.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 米山 大介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画部長 (氏名) 進藤 正紀 TEL 011(812)1131
 四半期報告書提出予定日 — 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年8月期第1四半期の連結業績（平成26年9月1日～平成26年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年8月期第1四半期	3,849	—	334	—	347	—	242	—
26年8月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 27年8月期第1四半期 272百万円 (—%) 26年8月期第1四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年8月期第1四半期	41.58	—
26年8月期第1四半期	—	—

- (注) 1. 当社は、平成26年8月期第1四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成26年8月期第1四半期の数値及び平成27年8月期第1四半期の対前年同四半期増減率の記載をしておりません。
 2. 当社は、平成26年11月12日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。そのため前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。
 3. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年8月期第1四半期	10,125	4,176	41.2
26年8月期	9,705	3,942	40.6

(参考) 自己資本 27年8月期第1四半期 4,176百万円 26年8月期 3,942百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年8月期	—	0.00	—	20.00	20.00
27年8月期	—	—	—	—	—
27年8月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

- (注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 2. 当社は、平成26年11月12日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合の平成26年8月期の年間配当金は6円67銭であります。

3. 平成27年8月期の連結業績予想（平成26年9月1日～平成27年8月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	7,627	—	459	—	478	—	292	—	—
通期	14,907	12.6	484	37.4	526	27.1	269	392.8	41.35

- （注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
 2. 当社は、平成26年8月期第2四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成27年8月期第2四半期（累計）の対前年同四半期増減率の記載をしておりません。
 3. 当社は、平成26年11月12日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。そのため当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。
 4. 1株当たり当期純利益は、公募株式数（1,300,000株）を含めた予定期中平均発行済株式数により算出しており、オーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当分は考慮しておりません。

※ 注記事項

- （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
 新規 —社（社名） 、除外 —社（社名）

- （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

- （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

- （4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年8月期1Q	5,829,000株	26年8月期	5,829,000株
② 期末自己株式数	27年8月期1Q	—株	26年8月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年8月期1Q	5,829,000株	26年8月期1Q	—株

- （注） 1. 当社は、平成26年8月期第1四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成26年8月期第1四半期における期中平均株式数（四半期累計）を記載しておりません。
 2. 当社は、平成26年11月12日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。そのため前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、経済政策及び金融緩和策により穏やかに回復の気配がみられるものの、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動から個人消費の下押しなどの影響もあり依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

鶏卵業界におきましては、鶏卵相場は円安で飼料価格が高止まりし、かつ平成25年の夏以降高値相場が続いており、当第1四半期連結累計期間（平成26年9月～平成26年11月）の北海道相場Mサイズ平均は1キロ219円54銭と、前年同期間比1円08銭高となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は3,849,029千円、営業利益は334,023千円、経常利益は347,954千円、四半期純利益は242,377千円となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

①鶏卵事業

当セグメントにおきましては、鶏卵の販売重量15,541トンとなり、鶏卵相場も高相場で推移している影響から売上金額は3,352,404千円となりました。

営業利益は、飼料価格が高止まりしているものの高相場による影響で407,433千円となりました。

②食品事業

当セグメントにおきましては、札幌圏及び道東圏での販売増が寄与し売上金額は496,325千円となりました。

営業利益は、適正な利益確保に注力したことで16,870千円となりました。

③その他

当セグメントにおきましては、売上金額は300千円、営業利益は59千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は前連結会計年度末に比べて419,255千円増加し10,125,185千円となりました。

流動資産は3,629,717千円となりました。これは、主として売上金額の増加により現金及び預金が139,388千円、受取手形及び売掛金が133,191千円増加したことによるものです。

固定資産は6,495,467千円となりました。これは、主として有形固定資産の取得により建物及び構築物が60,422千円、機械装置及び運搬具が49,830千円増加したことによるものです。

②負債

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は前連結会計年度末に比べて185,386千円増加し5,948,844千円となりました。

流動負債は3,841,872千円となりました。これは、主として法人税等の納付により未払法人税等が194,830千円減少したことによるものです。

固定負債は2,106,972千円となりました。これは、主として借入による長期借入金が330,099千円増加したことによるものです。

③純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は前連結会計年度末に比べて233,868千円増加し4,176,340千円となりました。

これは、主として四半期純利益242,377千円の計上等により利益剰余金が203,517千円増加したことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、鶏卵業界としては寡占化の流れが更に加速され、また、少子高齢化が進む中で鶏卵の需要が今後さらに高まっていくとは考えにくい状況であると推測されます。

鶏卵事業におきましては、株式会社第一ポトリーフームの子会社化に伴い開設した盛岡支店でのスーパー向け直販比率増加による利益拡大、生産部門での更なるコストダウンに取り組んでまいります。

食品事業におきましては、札幌支店を中心に商品提案・配送等のサービス強化に取り組み、拡販に努めてまいります。

以上を踏まえ、平成27年8月期の実績予想は、売上高は14,907百万円（前年同期比12.6%増）、営業利益は484百万円（同37.4%増）、経常利益は526百万円（同27.1%増）、当期純利益は269百万円（同392.8%増）を見込んでおります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,355,792	1,495,180
受取手形及び売掛金	1,603,858	1,737,049
商品及び製品	118,341	144,014
仕掛品	11,876	13,261
原材料及び貯蔵品	107,361	98,984
その他	158,661	146,089
貸倒引当金	△3,859	△4,864
流動資産合計	3,352,031	3,629,717
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,591,642	3,652,065
機械装置及び運搬具（純額）	830,167	879,998
土地	1,141,582	1,141,582
その他（純額）	223,694	215,084
有形固定資産合計	5,787,087	5,888,731
無形固定資産	87,197	92,942
投資その他の資産		
投資有価証券	383,199	430,720
その他	99,223	85,966
貸倒引当金	△2,810	△2,892
投資その他の資産合計	479,612	513,794
固定資産合計	6,353,898	6,495,467
資産合計	9,705,929	10,125,185
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,459,461	1,392,285
電子記録債務	163,209	158,846
短期借入金	635,000	835,000
1年内返済予定の長期借入金	566,198	553,358
未払法人税等	295,431	100,601
環境対策引当金	591	591
賞与引当金	85,000	126,067
役員賞与引当金	17,200	17,200
その他	774,833	657,923
流動負債合計	3,996,924	3,841,872
固定負債		
長期借入金	1,609,047	1,939,146
退職給付に係る負債	102,050	105,608
役員退職慰労引当金	47,000	48,722
その他	8,436	13,495
固定負債合計	1,766,533	2,106,972
負債合計	5,763,458	5,948,844

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	300,750	300,750
利益剰余金	3,583,935	3,787,453
株主資本合計	3,884,685	4,088,203
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	57,785	88,136
その他の包括利益累計額合計	57,785	88,136
純資産合計	3,942,471	4,176,340
負債純資産合計	9,705,929	10,125,185

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成26年11月30日)
売上高	3,849,029
売上原価	3,038,004
売上総利益	811,024
販売費及び一般管理費	477,001
営業利益	334,023
営業外収益	
受取利息	33
受取配当金	516
仕入割引	5,255
受取貸貸料	11,298
その他	7,029
営業外収益合計	24,134
営業外費用	
支払利息	5,367
貸貸費用	4,835
営業外費用合計	10,203
経常利益	347,954
特別損失	
固定資産除却損	6,663
その他	286
特別損失合計	6,949
税金等調整前四半期純利益	341,004
法人税、住民税及び事業税	98,626
法人税等合計	98,626
少数株主損益調整前四半期純利益	242,377
少数株主利益	—
四半期純利益	242,377

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成26年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	242,377
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	30,350
その他の包括利益合計	30,350
四半期包括利益	272,728
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	272,728
少数株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第1四半期連結累計期間（自 平成26年9月1日 至 平成26年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	鶏卵事業	食品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,352,404	496,325	3,848,729	300	3,849,029
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	3,352,404	496,325	3,848,729	300	3,849,029
セグメント利益	407,433	16,870	424,304	59	424,364

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飼料及び包装資材の販売事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	424,304
「その他」の区分の利益	59
全社費用（注）	△90,340
四半期連結損益計算書の営業利益	334,023

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。